

2002/2期 決算報告

常務取締役資金管理本部長
高橋 伸夫

1. 01/2期の連結業績（注）

（注）サークルKとサンクスの合算数値から連結調整勘定（748百万円）と配当金（219百万円）を修正した数値です。

（単位：百万円）

	01/2期
チェーン全店売上高	813,819
グループ売上高 （エリアFCを含む）	975,563
営業総収入	143,080
営業利益	23,336
経常利益	22,393
当期純利益	8,066

連結調整勘定

1998年10月にサークルKがサンクスの株式の約25%を取得した時の「のれん代」で20年間で償却する。02/2期末残は約127億円。今後、17年間毎年748百万円ずつ償却する。

配当金

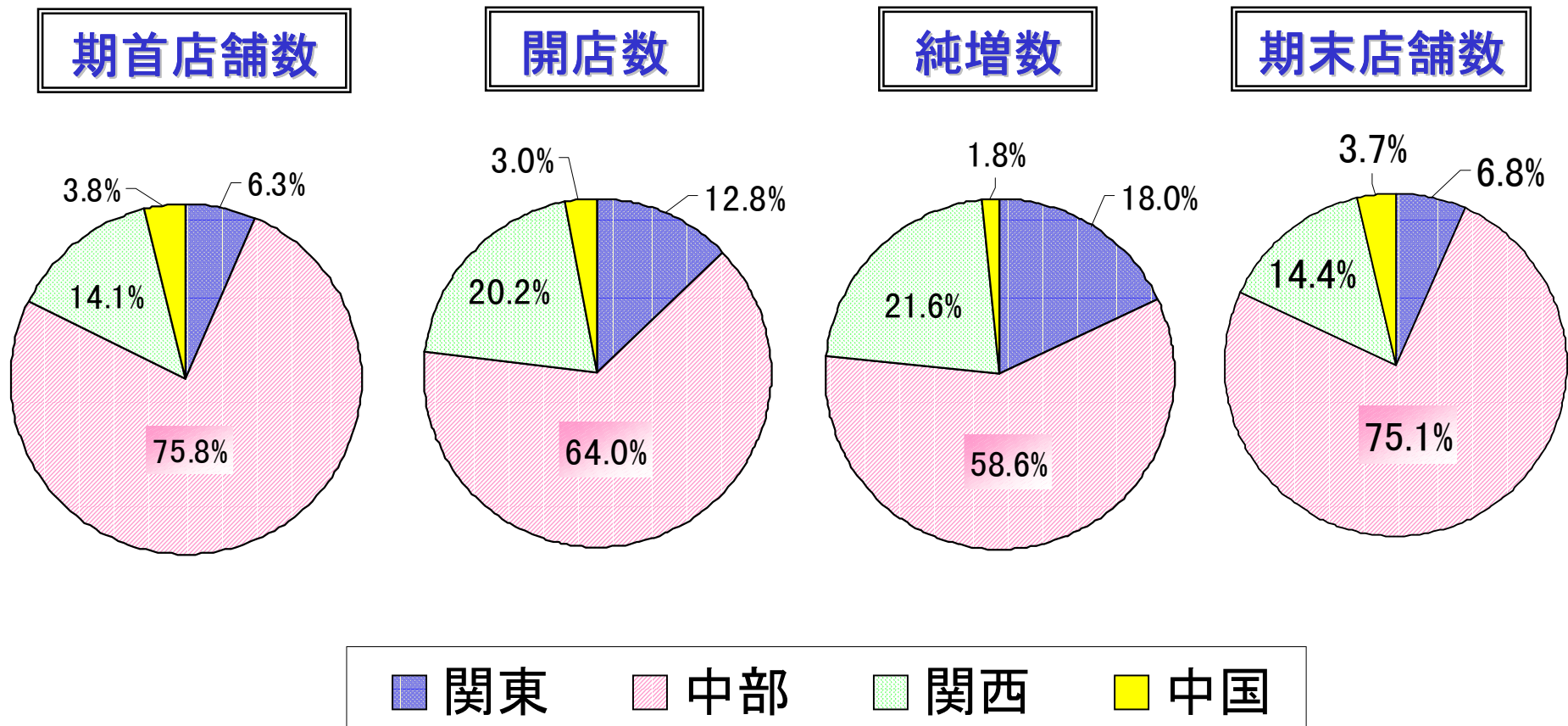
01/2期にサンクスがサークルKに支払った配当額。

2. 新店の状況 —2002/2期—

(単位:店)

2002/2期	サークルK	サンクス	C&S
新店合計	203	206	409
新設店	186	193	379
リロケート店	17	13	30
平均日販(万円)	42.1	45.6	44.0
免許品取得状況			
酒あり店	30.5%	65.0%	47.9%
タバコあり店	88.2%	64.6%	76.3%
酒・タバコあり店	28.6%	43.7%	36.2%
なし店	9.9%	14.1%	12.0%

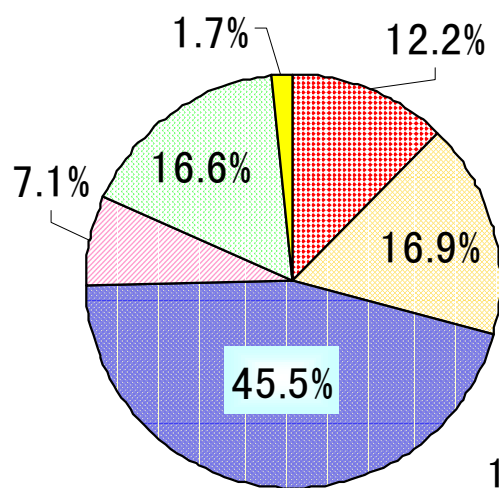
3. 地域別店舗の状況 ① サークルK



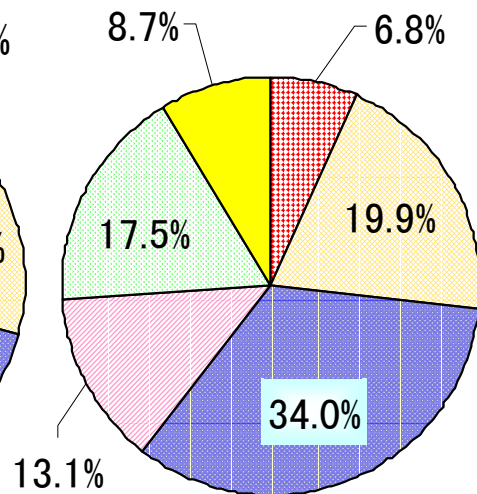
(注) エリアFCを除く、本体ベース

4. 地域別店舗の状況 ② サンクス

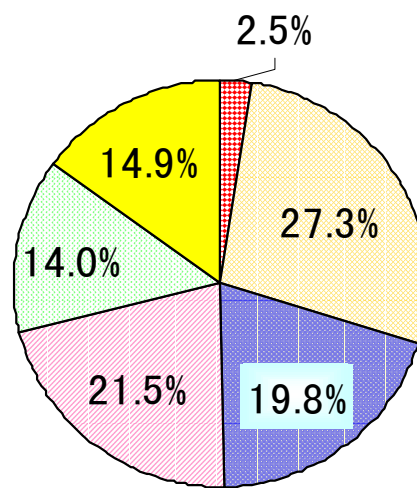
期首店舗数



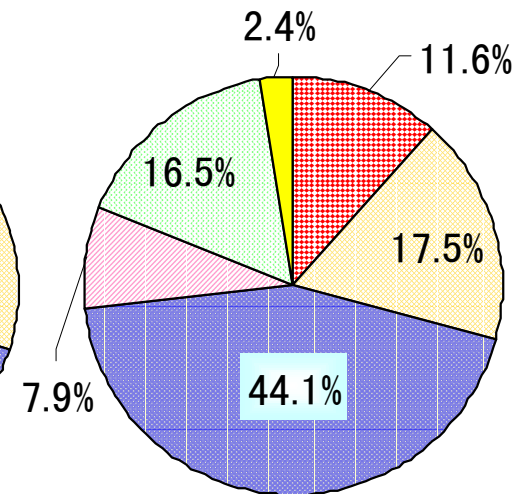
開店数



純増数



期末店舗数

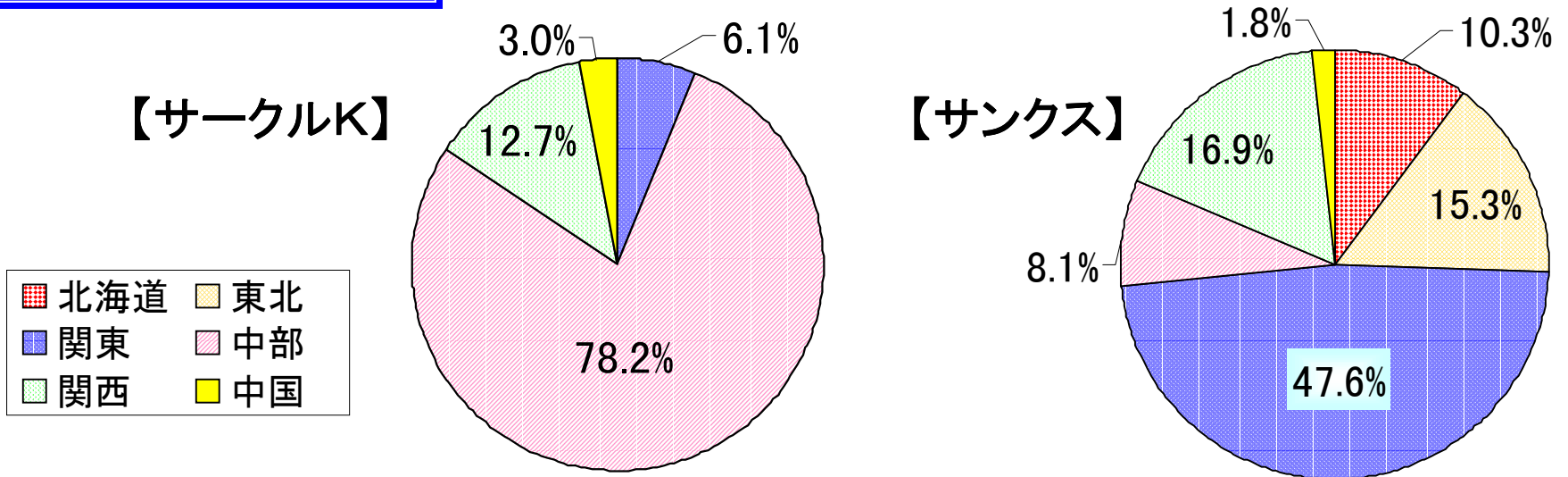


■ 北海道 ■ 東北 ■ 関東 ■ 中部 ■ 関西 ■ 中国

(注) エリアFCを除く、本体ベース

5. 売上の状況

①地域別売上構成比



②地域別売上前年比

02/2期	サークルK		サンクス	
	全店	既存店	全店	既存店
北海道	-	-	+1.9%	-2.3%
東北	-	-	+7.3%	-2.6%
関東	+14.8%	+2.6%	+5.2%	-0.4%
中部	+3.2%	-0.6%	+17.1%	+1.4%
関西	+6.7%	-1.5%	+9.7%	+0.5%
中国	+5.2%	-3.0%	+56.4%	+5.7%
全国	+4.4%	-0.7%	+7.4%	-0.6%

6. 商品分類別日販の動向

商品分類	日販	サークルK	サックス	商品分類	日販	サークルK	サックス
ファーストフード	10 万円	△	○	酒類	5 万円	×	×
米飯	-	△	○	タバコ	9 万円	○	○
調理パン	-	○	○	化粧品	1 万円	○	○
調理麺	-	○	△	サービス類	4 万円	○	○
惣菜	-	×	○	プリペイドカード	-	○	○
ソフトドリンク	7 万円	○	○	ハイカ	-	×	○
ラーメン	1 万円	○	○	はがき・切手	-	○	○
ガム・チョコ・駄菓子	2 万円	○	○				
雑誌・新聞	4 万円	×	×				
雑誌	-	○	○				
新聞	-	△	△				
ゲーム類	-	×	×				

(注) 日販は両社平均の概算値

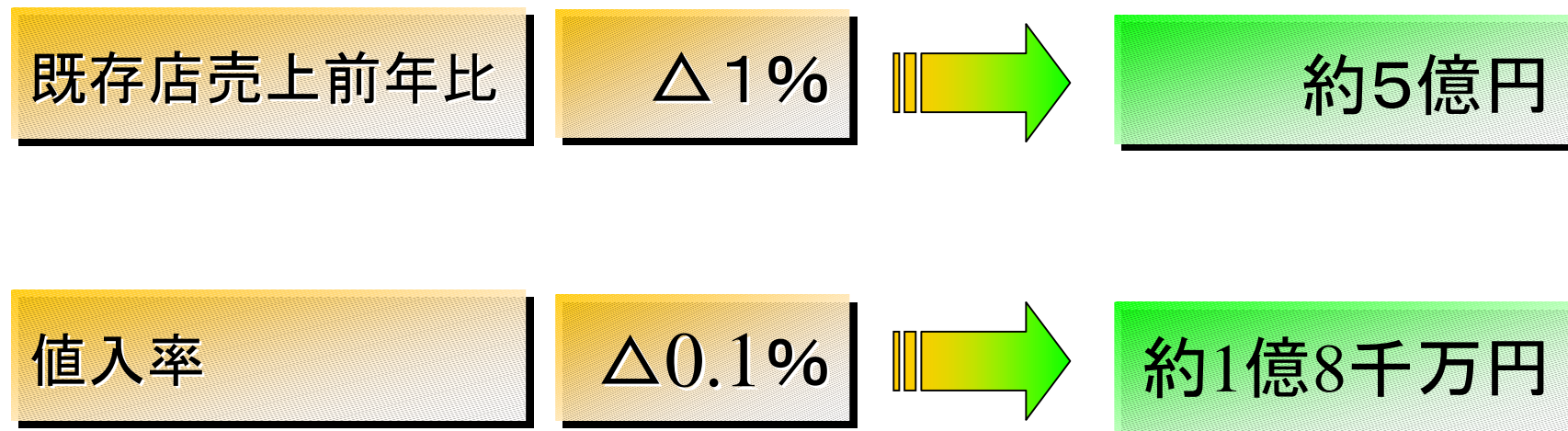
【記号】 ○ ほぼ前年並み、又は前年比プラス

 △ やや苦戦

 × 苦戦

7. Sensitivity Analysis

既存店売上前年比、値入率の変化がロイヤリティに与える影響度は、両社ともにおおよそ次のとおり...



8. 店舗閉鎖損の詳細①

(単位:店、百万円)

	01/2期	02/2期	03/2期(予想)
【C&S】			
閉店数	155	177	180
営業外費用	1,157	1,206	1,390
特別損失	848	596	830
合計	2,005	1,802	2,220
1店当たり平均	12.9	10.2	12.3
【サークルK】			
閉店数	77	92	100
営業外費用	686	617	940
特別損失	510	310	620
合計	1,196	927	1,560
1店当たり平均	15.5	10.1	15.6

9. 店舗閉鎖損の詳細 ②

(単位:店、百万円)

【サンクス】	01/2期	02/2期	03/2期(予想)
閉店数	78	85	80
営業外費用	471	589	450
特別損失	338	286	210
合計	809	875	660
1店当たり平均	10.4	10.3	8.3

(注1) 特別損失には、店舗閉鎖に係わる固定資産除却損の他に、
営業店のファサード、内装などの除却損を一部含みます。

(注2) 1店当たり平均は単純平均で、一部期ズレもあり、参考値です。

(注3) エリアFCを除く、本体ベース

10. 特別損失について①

(単位:百万円)

【C&S】	01/2期	02/2期	03/2期(予想)
合 計	7,709	2,390	1,500
固定資産除却損	848	596	830
有価証券評価損	-	452	-
ソフトウェア更新損	934	1,148	670
店舗設備更新損	1,801	-	-
その他	4,126	193	-
【サークルK】			
合 計	4,370	890	620
固定資産除却損	510	310	620
有価証券評価損	-	237	-
ソフトウェア更新損	-	241	-
店舗設備更新損	1,490	-	-
その他	2,370	103	-

11. 特別損失について②

(単位:百万円)

【サンクス】	01/2期	02/2期	03/2期(予想)
合 計	3,339	1,499	880
固定資産除却損	338	286	210
有価証券評価損	-	216	-
ソフトウェア更新損	934	908	670
店舗設備更新損	311	-	-
その他	1,756	90	-

(注1) 店舗設備更新損は、主にPOSレジ、ストコンの除却損です。

(注2) 01/2期の「その他」の主要なものは、退職給与引当金繰入額で、サークルKは2,299百万円、サンクスは1,689百万円計上しています。

12. キャッシュ・フローについて

(単位:百万円)

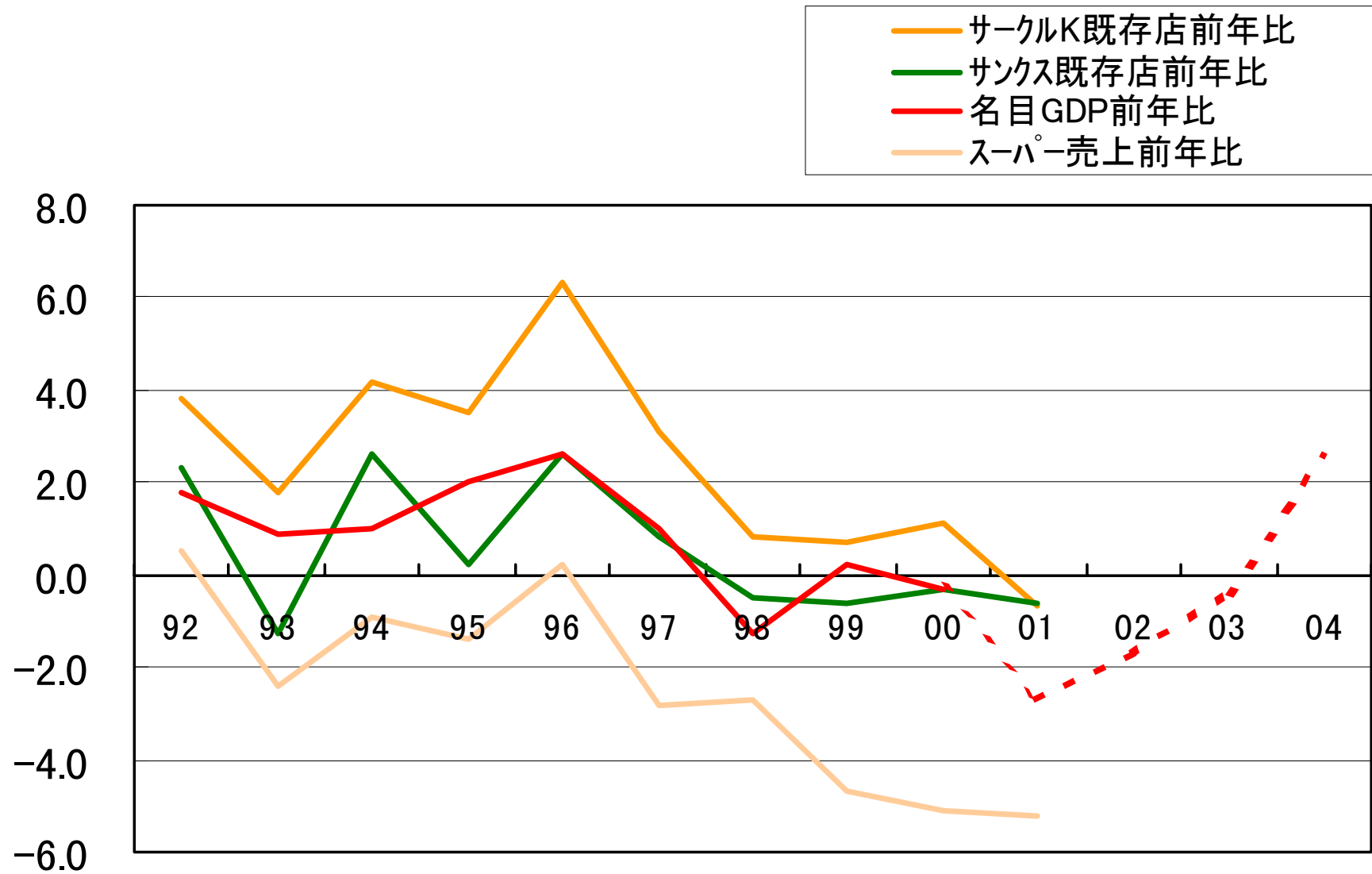
	02/2期	03/2期(予想)
当期純利益	11,304	12,500
減価償却費及び償却費	10,573	11,380
うち		
サークルK	7,257	7,410
サンクス	4,046	4,710
内部取引調整額	-730	-740
連結調整勘定償却額	748	748
その他	6,300	5,532
営業活動によるキャッシュ・フロー	28,925	30,160
投資支出	24,476	22,900
投資回収	4,795	2,900
投資キャッシュ・フロー	19,683	20,000
配当金の支払額	2,190	2,586
フリーキャッシュ・フロー	7,052	7,574

13. 新店の状況 —2003/2期計画—

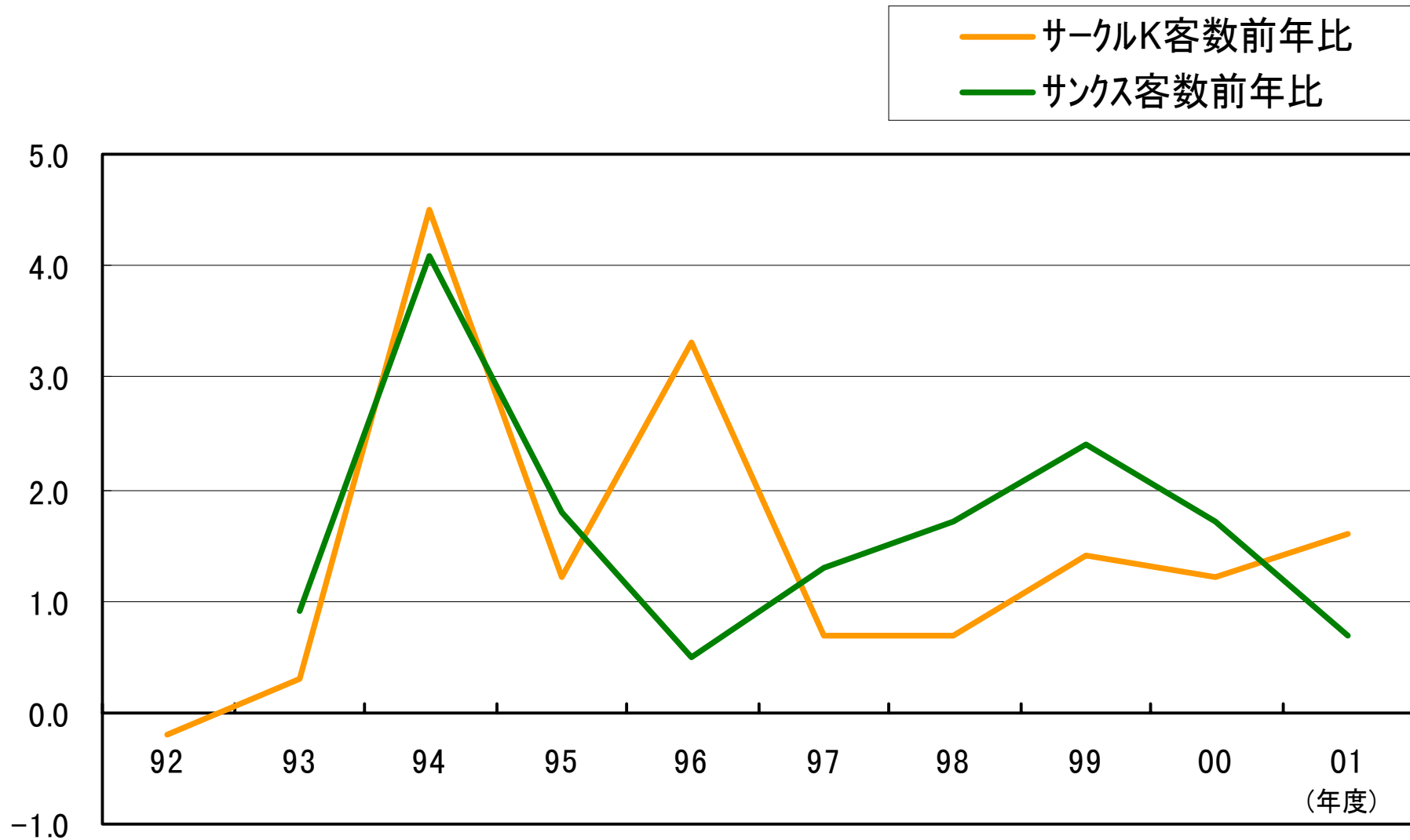
(単位:店)

2003/2期計画	サークルK	サンクス	C&S
新店合計	230	253	483
新設店	190	228	418
リロケート店	40	25	65
平均日販(万円)	47.0	48.9	48.0

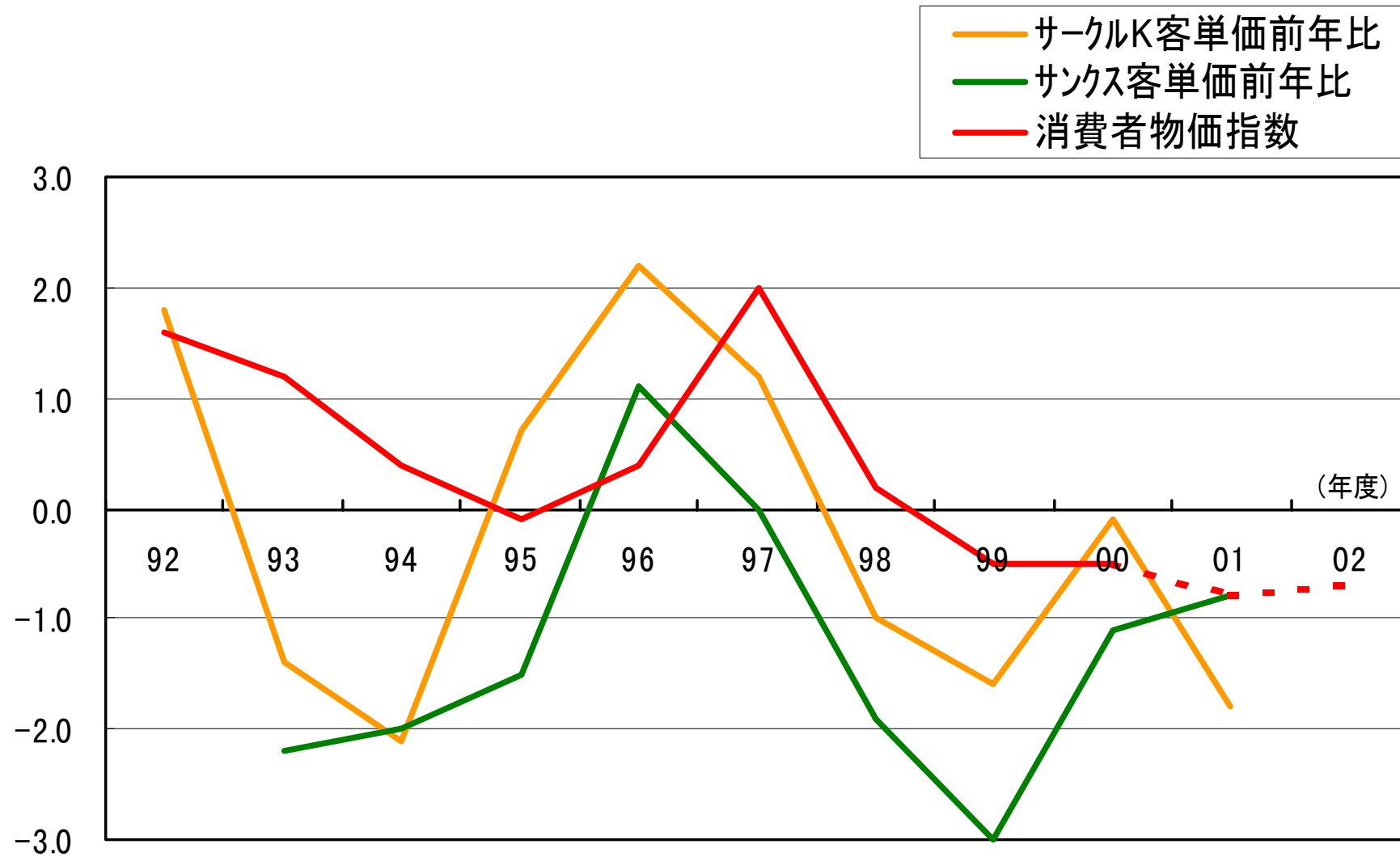
14. 既存店売上前年比と名目GDP前年比



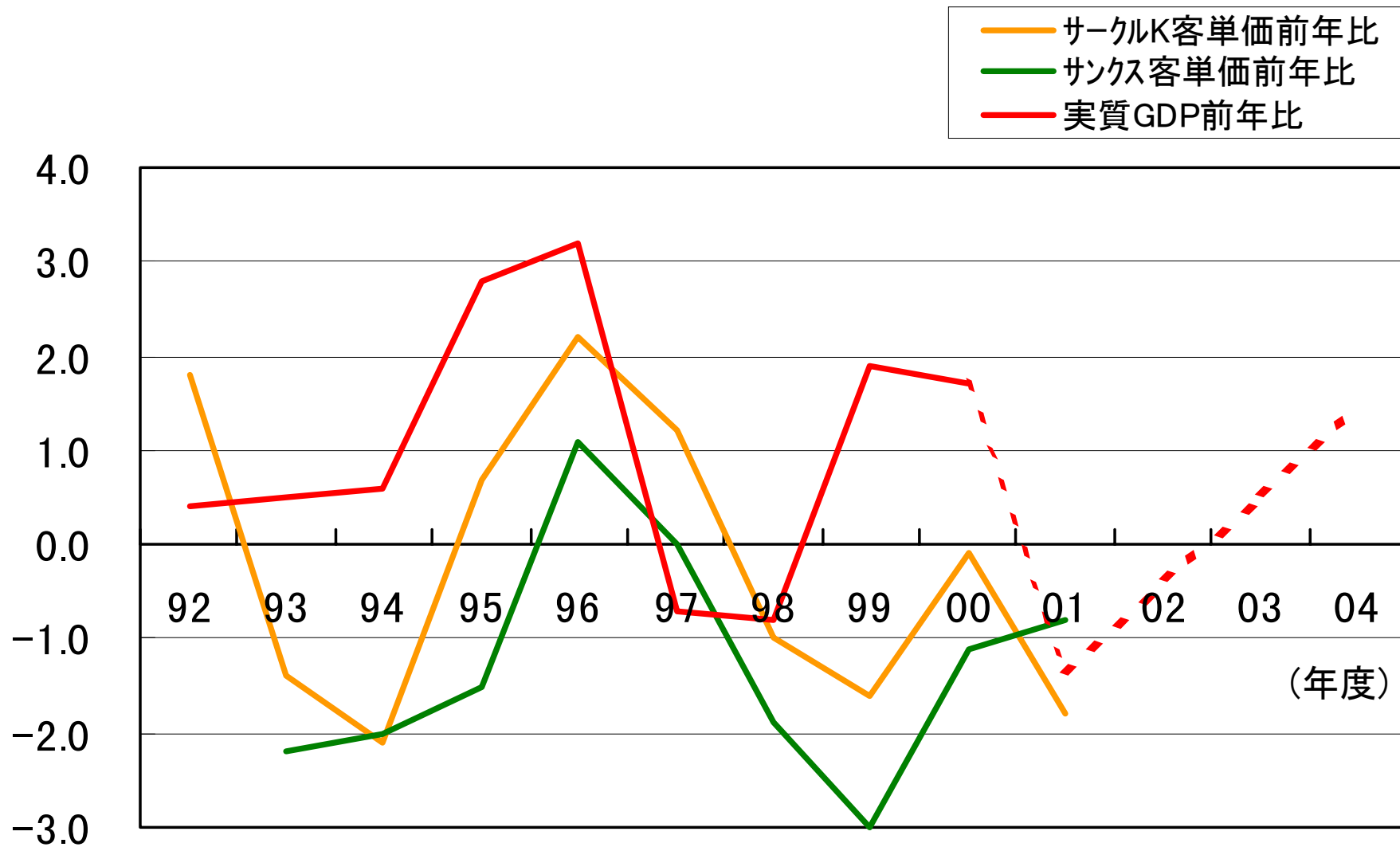
15. 客数前年比



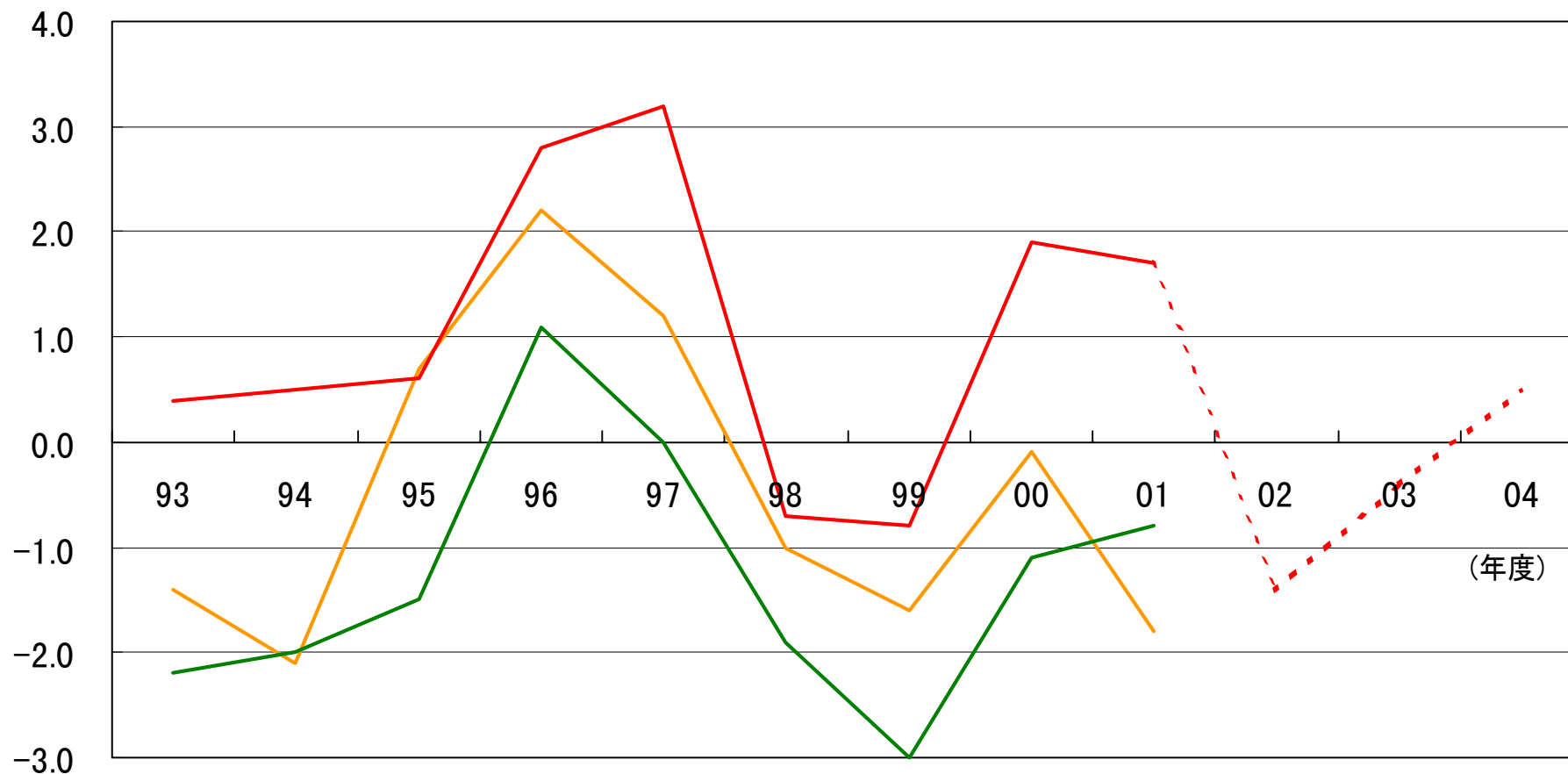
16. 客単価前年比と消費者物価指数



17. 客単価前年比と実質GDP前年比



18. 客単価前年比と1年遅れ実質GDP前年比



— サークルK客単価前年比 — サクス客単価前年比 — 1年遅れ実質GDP前年比

- (注) 1. 実線は実数値、点線は予測値を表す。
2. 01年度・02年度の名目GDPおよび実質GDPは、民間調査機関20社の平均値。
3. 03年度の名目GDP、実質GDPおよび消費者物価指数は、野村総合研究所の予測値。
4. 04年度の名目GDPおよび実質GDPは、経済財政諮問機関作成の「構造改革と経済財政の中期展望」による。

8. 店舗閉鎖損の詳細①

(単位:店、百万円)

【C&S】	01/2期	02/2期	03/2期(予想)
閉店数	155	177	180
営業外費用	1,157	1,206	1,390
特別損失	848	596	830
合計	2,005	1,802	2,220
1店当たり平均	12.9	10.2	12.3
【サークルK】			
閉店数	77	92	100
営業外費用	686	617	940
特別損失	510	310	620
合計	1,196	927	1,560
1店当たり平均	15.5	10.1	15.6

9. 店舗閉鎖損の詳細 ②

(単位:店、百万円)

【サンクス】	01/2期	02/2期	03/2期(予想)
閉店数	78	85	80
営業外費用	471	589	450
特別損失	338	286	210
合計	809	875	660
1店当たり平均	10.4	10.3	8.3

(注1) 特別損失には、店舗閉鎖に係わる固定資産除却損の他に、
営業店のファサード、内装などの除却損を一部含みます。

(注2) 1店当たり平均は単純平均で、一部期ズレもあり、参考値です。

(注3) エリアFCを除く、本体ベース

10. 特別損失について①

(単位:百万円)

	01/2期	02/2期	03/2期(予想)
【C&S】			
合 計	7,709	2,390	1,500
固定資産除却損	848	596	830
有価証券評価損	-	452	-
ソフトウェア更新損	934	1,148	670
店舗設備更新損	1,801	-	-
その他	4,126	193	-
【サークルK】			
合 計	4,370	890	620
固定資産除却損	510	310	620
有価証券評価損	-	237	-
ソフトウェア更新損	-	241	-
店舗設備更新損	1,490	-	-
その他	2,370	103	-

11. 特別損失について②

(単位:百万円)

【サンクス】	01/2期	02/2期	03/2期(予想)
合 計	3,339	1,499	880
固定資産除却損	338	286	210
有価証券評価損	-	216	-
ソフトウェア更新損	934	908	670
店舗設備更新損	311	-	-
その他	1,756	90	-

(注1) 店舗設備更新損は、主にPOSレジ、ストコンの除却損です。

(注2) 01/2期の「その他」の主要なものは、退職給与引当金繰入額で、サークルKは2,299百万円、サンクスは1,689百万円計上しています。

19. 02/8 上期の出店計画

(単位: 店)

		01/8 上期			02/8 上期(計画)		
		サークルK	サンクス	C&S	サークルK	サンクス	C&S
	開店	99	120	219	108	124	232
	閉店	41	36	77	54	30	84
本体期末店舗数		2,530	2,101	4,631	2,637	2,232	4,869
	開店	14	71	85	20	67	87
	閉店	3	13	16	6	21	27
エリアFC期末店舗数		232	867	1,099	259	974	1,233
	開店	113	191	304	128	191	319
	閉店	44	49	93	60	51	111
グループ期末店舗数		2,762	2,968	5,730	2,896	3,206	6,102

20. 02/8 上期の業績計画

(単位: 百万円)

	01/8 上期			02/8 上期(計画)			
	サークルK	サンクス	C&S	サークルK	サンクス	C&S	
						前年同期比	
本体	239,720	199,711	439,432	248,000	212,200	460,200	4.7%
エリアFC	16,973	75,844	92,818	18,700	85,700	104,400	12.5%
グループ売上高	256,693	275,556	532,250	266,700	297,900	564,600	6.1%
既存店前年比	-0.1%	-0.4%	-0.2%	-1.5%	-0.2%	-0.9%	-
平均値入率(注)	+0.5%	+0.5%	-	+0.2%	+0.2%	-	-
営業総収入	46,932	31,725	78,658	47,250	33,250	80,500	2.3%
営業総利益	32,835	28,283	61,119	33,800	29,800	63,600	4.1%
営業利益	8,430	7,032	14,956	8,070	6,830	14,400	-3.7%
経常利益	8,417	6,925	14,571	7,700	6,680	13,800	-5.3%

(注) 平均値入率は前年同期比です。

21. 02/8 上期の業績計画の減益要因

◆既存店売上前年比のマイナス計画

⇒景気動向、天候要因など

◆閉店、店舗活性化費用の増加

◆固定費の増加

⇒店舗賃借料、機器リース料、システム費用など

サークルK

新POS導入によるリース料増(約3億円)、
サンクスからの配当金の減少(約1億円)

サンクス

還元率区分の変更(約1億円)

22. 情報システムの投資と費用

(単位:百万円)

1.投資額(注1)

	01/2期	02/2期	03/2期(予想)
サークルK	5,855	7,636	2,200
サンクス	15,137	3,633	3,090
合計	20,992	11,269	5,290

2.費用(注2)

	01/2期	02/2期	03/2期(予想)
サークルK	5,552	6,146	6,880
サンクス	4,051	5,809	6,020
合計	9,603	11,955	12,900

(注1)POS、ストコンのハード、及び、ソフトウェア開発費。リース対応分を含む。

(注2)販管費に計上されたシステム関連の経費で、減価償却費を除くシステム運用費、開発費償却額、機器リース料の合計。特別損失に計上したものを除く。

23. 販管費について

《営業総利益に占める経常利益の推移》

	99/2(3)	00/2	01/2	02/2	03/2(予)
サークルK	26.3%	25.8%	21.3%	21.4%	21.1%
サンクス	16.7%	19.9%	20.6%	19.6%	20.4%

課題

総付加価値である営業総利益における経常利益率が改善しづらくなっている。⇒ 損益分岐点が下がらない

理由

- ・収入の伸び率の鈍化(既存店売上、新店日販の伸び悩み)
- ・地代家賃、設備リース料、システム費用など固定費の増加



構造改革が必要

4月19日(金)9:00a.m.より
決算報告の様子を音声配信
いたします。また、プレゼン
資料もダウンロード可能です。
C&Sホームページへアクセス
してください。

(<http://www.csgrp.co.jp>)